

貧困終わらそう テーマに写真展

渋谷

「世界を写そう・私たちは貧困を終わらせる」と題する写真展が渋谷区広尾4の「JICA地球ひろば」で開催中だ。

国連の「ミレニアム開発目標」(MDGs)をテーマに、国連開発計画(UNDP)とオリンパスが今年、実施した写真コンテストの受賞作など約110点を展示。MDGsでは「極度の貧困と飢餓の撲滅」「ジェンダー平

等の推進と女性の地位向上」など八つの目標を掲げており、コンテストでは世界各国のプロ、アマチュアの写真家から3400点以上の応募があった。

プロ部門の最優秀賞は、インド出身のプラカッシュ・ハトワールネさんの作品「一歩前へ」。学校の階段を上るインドの少年の後ろ姿をとらえた。また、アマ部門は、ベトナム人のチュン・ヴィン・ギアさんが小さな漁村で写した「日々の仕事」。猟師たちが「地域の人々の力で貧困か



アマ部門で最優秀賞に選ばれた「日々の仕事」
＝オリンパス提供

総裁(60)は「教育や保健などしっかりと公政策を築き、途上国の貧困問題を解決することが地球の未来につながる」と話した。

来年1月9日まで(月曜日と27日)1月3日は休館。入場無料。オリンパスCSR推進部(03・6901・9299)。(明珍美紀)

ら脱却できるように」と願いながら、収穫の網を引き揚げています。

オープニングセレモニーに出席したUNDPのヘレン・クラーク

2010年12月21日
毎日新聞・朝刊